



発行 日野市教育委員会 (編集 教育部学校課)

教育目標

世界へ
ともに
夢を
自分を

紙面から

「教育のまち 日野」を实践 1
ICT活用教育のさらなる充実を目指して 1
ひのっ子ががんばっています 2
「ふるさと日野」を郷土資料館で楽しもう 2

「教育のまち 日野」を实践



平山小学校での研究発表会

小学校8校で研究発表会が開催されました

今年度、日野市教育委員会より研究奨励校の指定を受けた小学校8校で、研究発表会が行われました。

研究発表会は、日野市の当面する教育課題や学校独自のテーマについて、1年間、学校が行ってきた研究の成果を、保護者や地域の皆様、教育関係者等に見ていただくもので、各学校には、全国から多数の参観者がありました。

子どもたちの「生きる力」を大きく、一人ひとりの学力の質的向上を図るため、今後も、様々な課題研究に取り組み、「教育のまち 日野」の実践に努めます。

研究発表会が行なわれた学校と研究テーマは、次のとおりです。

- ◇日野第一小学校
「ふれ合う 学び合う 感じ合う in ふるさと日野」
- ◇日野第三小学校
「思考力・表現力を高める算数科の指導」
- ◇日野第四小学校
「学ぶ楽しさの実感と自ら学ぶ意欲の向上を目指して」
- ◇平山小学校
「これからの社会をたくましく生きる力の育成」
- ◇滝合小学校
「コミュニケーションを楽しむ子供の育成」
- ◇日野第七小学校
「科学的に考える子を育てる指

ICT活用教育のさらなる充実を目指して

地上デジタルテレビ等の整備

日野市では、これまでのICT活用教育をさらに充実・発展させるため、国の施策である「平成21年度学校情報通信技術環境整備事業」に参画し、それを受けて現在、市内全小中学校の普通教室に「地上デジタルテレビ」とその活用のための専用パソコン等を配備しつつあり、4月からはそれらを活用した授業が、各学校で展開されています。

学校の励みとなっているICTマーク審査

日野市では、平成20年度よりICT機器の活用状況を「セキュリティ」「授業」「校務」の3つの部門で審査を行い、一定の基準に達した学校には、日野市独自の「ICTマーク」(下图)を授与しています。

このマークは、3つの部門すべてで「合格」しますと、絵が完成する仕組みとなっており、その絵は「日野市の形」になるように作られています。

教育センターで「調査・研究の発表会」を実施しました

教育センターでは、学校教育基本構想に基づく次の四つの課題について調査・研究し、2月23日に発表しました。

- ①不登校児童・生徒の学習支援(eラーニングの開発) 研究
- ②ICTを活用した教育の開発
- ③理科教育推進研究
- ④郷土(ひの)教育推進研究

特に、不登校児童・生徒の在宅でのeラーニング学習に道筋をつけました。

いずれも授業研究に当たるものであり、学校の授業改善に活かされることを期待します。



市内各学校は、このマークの取得を目指しセキュリティの向上、授業・校務での活用に進んで取り組んでおり、今年度は前回に比べマーク取得校数が大幅に増えました。来年度は、全校が全部門で取得できることを期待しております。

(庶務課・ICT活用教育推進室)

日野市の学校給食 「安全でおいしく楽しい給食」

- 1 それぞれの学校で給食を作る自校調理方式
- 2 栄養士を1校1名配置
- 3 安全な食材を使用し、だしやルーも材料から
- 4 日野市内で採れた野菜・りんご・たまごを使用
- 5 ランチルームや食堂を備えるなど、食環境を整備

学校における食育

平成20年3月に「日野市食育推進計画」が策定され、翌21年3月には「日野市みんなですすめる食育条例」が制定されました。また、「食に関する指導の全体計画及び年間指導計画」が小中学校全校で作成されており、各校で取り組んでいます。

全校に配置されている栄養士は、色々な形で食育の取組を行っており、毎回の給食を「生きた教材」と捉え、いかにして成長期の大切な時期において食事を提供できるか、彩りや組み合わせなど献立の工夫、調理の工夫など情報交換をしながら取り組んでいます。



ある日の中学の給食
古代米の赤飯(地元黒米使用)
魚の黄金焼き
切干大根の炒煮
冬瓜のすまし汁(地元冬瓜使用)

日野産大豆プロジェクトが農水省局長賞を受賞

国産の安全な大豆を地元の畑で無農薬栽培し、学校給食で食べさせたいとの思いから市内小中学校の給食調理員、栄養士、市民、大学生などのボランティアで始まった「日野産大豆プロジェクト」が、「地域に根ざした食育コンクール2009」で「農林水産省消費・安全局長賞」を受賞しました。



収穫された大豆は年に1回、豆腐になって学校給食に提供されています。今年度は納豆にも挑戦しました。

ひのっ子がんぼっこです

潤徳小学校

★潤徳小学校児童で構成するサッカークラブ「潤徳ガルーダFC」の4年生(写真)が、第28回東京都少年ジュニアサッカー大会において、1位リーグブロックで2位に入賞しました。ブロック2位入賞は、参加した4年生614チームの中で8位以内に入る快挙です。



旭が丘小学校

理科委員会新聞が 文部科学大臣賞を受賞
旭が丘小学校理科委員会では、雑木林の自然を紹介する委員会新聞を発行しており、この活動により、これまでも賞を頂いてきました。今回、朝日新聞社の主催する第39回「学校新聞コンクール」で、文部科学大臣賞の受賞が決まりました。
日本一の雑木林が教育活動にも生かされたものです。



雑木林の小鳥 (理科委員会児童による撮影)

日野第一中学校

日野一中合唱部
都ヴォーカルアンサンブル
コンテストで銅賞を受賞

日野第一中学校合唱部が、2月13日、北とびあで行われた「東京都ヴォーカルアンサンブルコンテスト(TV.E.C)」に参加しました。
コンテストでは宮沢賢治作詞、鈴木輝昭作曲「イーハトーヴ」組曲から「星めぐり歌」と「水仙月の四日」を歌いきり、27団体の中で銅賞を受賞しました。



地域と共に!!

平山中学校

2月6日、平山中地区育成会主催の「第19回浅川ふれあいマラソン大会」が晴天のもと平山中学校を会場に行われました。中学生は、前日からボランティアとして「トン汁作り」に参加し、大会当日も大会運営に貢献しました。また、競技でも中学



体の中で銅賞を受賞しました。合唱部は1年生、2年生の部員16名という少ない人数でも、3年生が抜けた分を力一杯補い、今回の受賞に結び付けました。

大会における中学生の活躍に、地域の方々も絶賛していました。

小・中学校への寄付のお礼と報告

この度、市内に事業所を設置するエプソン販売株式会社様より、ベルマーク点数のご寄付をいただきました。これは、環境教育の推進と教育支援活動の一環として行っている、エプソン製品インク・トナーカートリッジのリサイクル回収に対して、ベルマーク財団が点数として付与し、エプソン販売株式会社が

社会貢献として実施されたものです。ベルマーク点数の交換は、各学校のPTA活動に限られていたため、各学校のPTAと相談しながら、子どもたちのために活用させていただきたいと思っております。

エプソン販売株式会社様には、この場を借りて改めて御礼申し上げます。
(庶務課)

麻しん(はしか)・風しんの 予防接種を受けましょう!

～年長児～
～小学一年生～

麻しん・風しん定期予防接種は、一生のうちに2回の予防接種で免疫を確実に獲得することができます。中学1年生・年長児の年代は、法定(無料)により予防接種が受けられます。

年長児と中学1年生は、法定(無料)で予防接種できる平成22年3月末までに、必ず接種するようにしましょう。

なお、4月から年長児になる方や中学に入学する方も、4月

1日からなら法定(無料)で予防接種できますので、早めに予防接種をしましょう。

予防接種を受けるには、日野市健康課から送付される「麻しん風しん(MR)混合第3期予防接種のお知らせ」を、覧の上、実施医療機関に電話連絡し、健康保険証と母子手帳と予防票を持参して受診してください。

▼問い合わせ健康課
(電話581-4111)

「ふるさと日野」を郷土資料館で楽しもう

郷土資料館は、子どもたちがふるさと日野と出会う機会を提供しています。展示・体験学習・講座などを開催し、日野の自然や歴史について様々なことを伝えていきます。ふるさとをテーマに生きる力を育てながら、楽しい思い出づくりをしてみませんか。

土した土器・石器などの遺物を展示します。昔の人々の暮らしに思いをはせてみませんか。

④暮らしの道具今・昔
12月4日～4月3日
昭和初期から戦後までの生活を中心に、当時の人々の暮らしを考えます。昔の道具についての学習にも役立ちます。



【平成22年度の展示予定】

企画展示①④は郷土資料館にて
①七生丘陵の自然とくらし
4月10日～7月11日

②今年もやります! 「稲生物怪録絵巻」公開
7月17日～8月31日

③土の中からのメッセージ2010
9月4日～11月28日

市内で発掘された遺跡から出

【体験学習会】

自然観察会、農業体験のエコライフクラブ、夏休み子ども講座、秋の収穫祭・正月飾り作り、どんど焼きなど季節を感じる行事も開催。子どもから大人まで楽しめる体験学習会を開催しています。

当館の行事は「広報ひの」ホームページでご案内しています。

日野市郷土資料館
日野市程久保550(旧高幡台小学校)
電話:59210981
月曜休館(祝日の場合は翌日)

特別展「新聞記事で見る日野市のあゆみ50年―昭和編―」
10月2日～12月12日
平成25年に市制施行50年を迎える日野市。市制施行の昭和38年からの日野市のあゆみを新聞や「広報ひの」などからたどります。会場は新選組のふるさと歴史館。

東京都教育委員会職員表彰

東京都教育委員会職員表彰は、都の教育の発展に貢献し、その功績が顕著な職員に送られるもので、今年度、日野市から次の3名が受賞されました。

○森本友明(大坂上中副校長)
部活動の充実・発展に向けた

取り組み
○楠 雅代(日野三小主任教諭)
特別支援教育の充実・発展に向けた取り組み
○後藤朋子(七生緑小主任教諭)
合唱指導と都小音研での研究推進 (学校課)

一小戸田和子教諭が 文部省優秀教員表彰を受賞

日野第一小学校の戸田和子教諭が、平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰を受賞されました。

この賞は、学校教育において教育実践等に顕著な成果を挙げられた方に贈呈されるもの。戸

田教諭は、同校において、特別な支援を要する児童への教育活動を積極的に推進し、特別支援教育の基盤を確立した功績が認められたものです。



★潤徳小学校5年生、橋本啓吾君(写真)が、第28回「海とさかな」自由研究コンクール(朝日新聞社主催)で、入賞16作品に選ばれました。

同コンクールは、全国の小学生を対象に、海とさかなと暮らしとの関わりを様々な角度から捉え調査研究を行う作品コンクールで、応募2万6,057作品の中から入賞作品の一つに選ばれたものです。